

令和6年度 京都大学一般選抜 出題意図等

外国語（英語）

- ・「出題意図等」とは、出題意図または標準的な解答例のことです。
- ・入学試験問題の満点や配点については、試験問題に記載のとおりです。
- ・各学部における個別学力検査の配点については、一般選抜学生募集要項に記載のとおりです。
- ・標準的な解答例については、ここに示す表記に限るものではありません。
- ・「出題意図等」についての質問および問い合わせには対応いたしません。

出題意図
令和6年度
外国語（英語）

I

“creativity”という単語の歴史と、この単語の持つ独自のニュアンスについて述べた文章である。英単語との一対一対応で覚えた日本語訳をただ機械的に当てはめて該当箇所のみを考えるのではなく、本文全体の主題や流れを的確に捉え、それを念頭に自然な日本語訳を作成する力や、適語を空欄に補充する力を問うている。たとえば(1)では、“Its first known written occurrence”、“making it an infant as far as words go”、“goes back a bit further”といった箇所を、単語の歴史という文脈に沿った自然な日本語に訳出することや、“dealing explicitly with the subject of ‘creativity’”がかかると対象を正しくとらえること等が重要になる。(2)の空欄補充においても、単語のニュアンスという主題や第2パラグラフ～第3パラグラフまでの流れをつかむ理解力が必要とされる。(3)の英文和訳では、たとえば、文意に沿って“constellation”や“appeal”を自然な日本語に訳出すること等が求められる。

II

マーケティングにおける人々の分類方法とその注意点について述べた文章である。本文全体の流れに留意しつつ、文構造をとらえて該当箇所を理解する力、難単語や口語表現の意味を推測する力を問うている。たとえば、(1)については、特に第1パラグラフ全体をとらえつつ、“to pursue”や“that”に関する文構造を正しく把握すること等、(2)については、本文全体をとらえながら、関係代名詞や“help”に関する構造を正しく理解すること等、(4)については、特に第3パラグラフ全体の流れをとらえつつ、口語表現や難単語を訳出すること等が求められる。(3)に関しては、本文の主旨に沿った例を独自に考える理解力と思考力、ならびにそれを論理的に展開する表現力を問うている。

III

和文英訳。標準的な構文・語彙・語句や、適切な主語・時制を用いながら、出題文の文意を的確に反映した自然な英語へと訳出する表現力を問うている。